

理科（化学） 学習指導計画（第6学年）

科 目		化学	対象学年	第 6 学年	単位数	4 単位	担 当 者		
教 科 書		化学 (東京書籍)		補助教材	セミナー化学（第一学習社） 化学頻出スタンダード問題 230 選（駿台文庫）			区 分	学校必履修選択
学習目標		・ 化学の学習内容を発展させ、化学的な事物・現象の基本的な概念、原理、法則、知識を理解させ、科学的な自然観を育成する。 ・ 実験・観察を積極的に行うことで基本的な技能を修得させ、結果を考察して自らの考えを導き出し、論理的に表現する能力を育てる。 ・ 大学入試に対応できる力を付ける。							
期	月	単 元	学習内容				評価計画		
1 学期	4	有機化学	・ 炭化水素 ・ アルコールと関連化合物 ・ 芳香族化合物				学習の様子 レポート 小テスト 定期考査		
	5								
	6								
	高分子化学	1 学期中間考査							
		7	・ 天然高分子						
		高分子化学	7 月考査						
9	・ 合成高分子								
1 学期期末考査									
2 学期					10	総合演習	大学入試問題を取り扱い、総合的に高校の化学を復習する。		
	11								
	12	2 学期中間考査							
	1								
	2								
3									
学習者への注意		・ 理科の学習法としては、予習よりも復習が重要である。授業で使用了プリントはファイルし、よく復習すること。問題集で問題を解くなど、理解を深めること。 ・ 実験は真剣に、意欲的に取り組み、実験結果について十分に考察すること。 ・ 評価は学習の様子、提出物等の提出状況と内容、定期考査、小テストの結果から総合的に判断する。特に定期考査の比重が大きい、考査前に集中して学習するのではなく、普段から少しずつ学習することを強く勧める。							
評価の方法		定期考査（含む小テスト）と授業の様子、提出物等の状況・内容により評価を行う。また、学習の様子により、加点、減点を行う。学習の様子が著しく不良の場合は、大幅な減点もある。							